

職員の皆さんへ

新年度が始まってから1ヶ月が過ぎ、あっという間に5月のゴールデンウィークの真っ只中となりました。今回、組織改編となったそれぞれの部局を含め、新旧織りなす顔ぶれによって円滑な行政運営がなされていることを嬉しく思います。

また、教育委員会においては田平支所への移転によって新しい職場環境の再編などで慌しかったことと思います。

毎日、毎週そして毎月が、新しいスタートであることを職員の皆さんと同様に私自身にも言い聞かせ、心身ともにリフレッシュ感を維持しながら、様々な業務に取り組んで参りたいと決意を新たにしているところです。

さて今年のゴールデンウィークはこれまで比較的天候にも恵まれ、多くの観光客で市内の各イベントも予想以上の盛り上がりを見せているようです。

それぞれの実行委員会を組織する地域の方々をしっかりとサポートして成果を挙げている職員各位のご努力に対し改めて敬意を表します。また4月26日には早朝より財務部と会計課の職員有志による清掃ボランティア活動の現場を思いがけなく拝見し頼もしさとともに感謝の気持ちを抱きつつ激励をさせていただいた次第です。その他にも私が直接目に触れることのできない場所で献身的な活動を行なっている職員がたくさんいることでしょう。そうした思いと活躍が市民の皆様の信頼をしっかりとつなぎめることになるものと期待します。

4月を振り返りますと、平戸市観光交流ターミナルの供用開始、ふれ愛センター一度島のオープン、市道堤線の供用開始などこれまで進めてきた事業が本格的にスタートしましたし、懸案であった大型公共事業としての消防庁舎、(仮称)総合情報センターの起工式も執り行うことができました。

全国的にも厳しい財政環境の中であって、これらの事業の確実な進展が社会的にも高い評価を頂くことが出来ている証として「平戸市は躍動していて元気が感じられる」という言葉を内外から耳にします。

また毎週土日に様々なイベントが繰り広げられ、平戸市を訪れる観光客や参加者からは喜びとともに、市民の方々の心を添えた「おもてなし」への賞賛や感動の言葉も寄せられています。この価値ある流れと勢いを持続しながら、ゴールデンウィーク後半のそれぞれのイベントにおいても市民の方々にとって頼りになる脇役としてがんばってほしいと思います。

本日1日付けで「世界遺産登録推進本部会議」や「行政改革推進本部会議」がスタートし組織横断的な行政課題解決への取り組みが始まります。またすでに長崎がんばらんば国体平戸市実行委員会の協議も回数を重ねておりいよいよ 5

ヵ月後に迫った一大イベントへの準備が整いつつあります。

こうした事業はそれぞれの部局における責任担当能力が問われ、かつ相互連携を基軸としたチームワークが重要となります。

確固たる信頼関係の中で「全ては市民のために」という理念を抱きつつ所期の目的達成に向けて全力を注いでまいりましょう。

今月は私自身、韓国におけるシンポジウム参加や九州市長会、全国離島振興協議会など対外的な行事に出席するため市役所を留守にすることが多くなります。その間寺田副市長、杉澤教育長をはじめ各部局長を中心に円滑かつ確実な業務遂行をお願いするとともに、緊急の場合等必要に応じてモバイル通信により連絡をお取りいただくよう、よろしく申し上げます。

5月からクールビズの装いになりますが、まさに爽快感あふれる行政マンとして市民に親しまれ信頼されるよう誠意と熱意をもってそれぞれの業務に精進していただきたいと思えます。

今月もエネルギーに頑張りを発揮しましょう！

平成 26 年 5 月 1 日

平戸市長 黒 田 成 彦